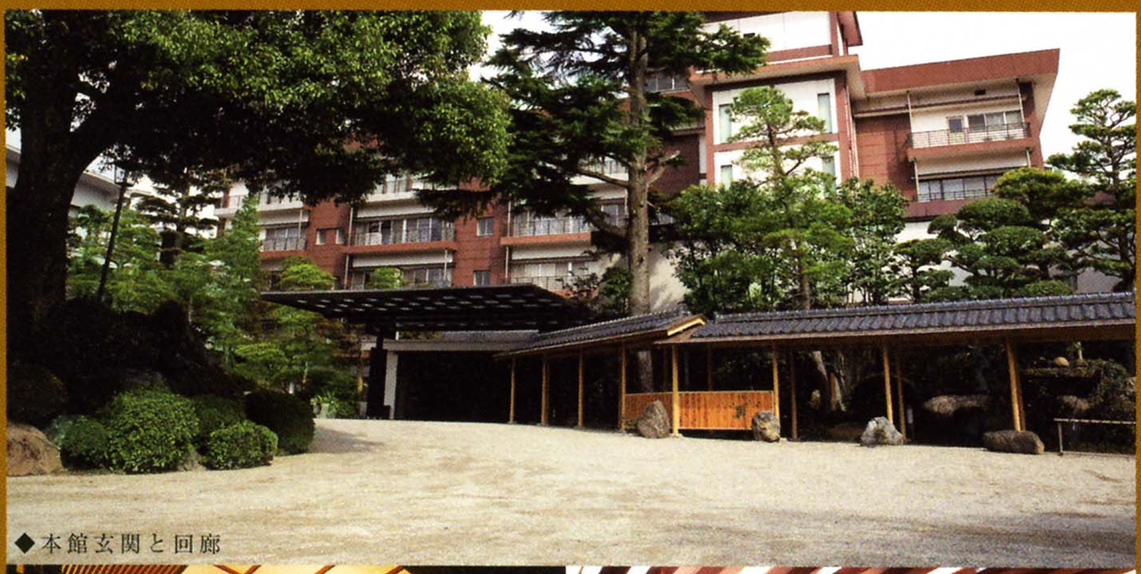
長楽園の歴史は、玉造温泉の歴史です。

玉造温泉は、奈良時代初期に私どもの家祖にあたる長谷川俊方によって開かれました。俊方はのちに出家して大山寺を開山、金連上人と称しています。その後長谷川家は、室町時代に洪水で埋まった温泉を再興、江戸時代には、松江藩より「長谷川湯之助」の官職を賜って、元湯の管理、湯賃の管理、湯普請など、玉造温泉の発展に力を注ぎました。やがて、明治元年（1868年）長楽園の商号で旅館業を開始。明治42年には、日本一の広さの庭園混浴大露天風呂が完成しています。以来、玉造随一の宿として、幾多の文人墨客、名士の方々に愛されてきました。皇室の方々にも、折々にご来泊の栄誉を賜っております。

◆客室数／67室（特別室数／4室）　◆収容人数／約300名　◆駐車場／50台
◆入浴時間／大浴場：5時30分～24時、露天風呂：5時30分～23時30分
◇泉質／ナトリウム・カルシウム―硫酸塩・塩化物泉（低張性弱アルカリ性高温泉）
◇湯の色／透明　◇効用／神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、慢性消化器病、痔疾、冷え性、慢性婦人病、動脈硬化症、慢性皮膚病など
◆館内施設／売店、コーヒーラウンジ、大広間、お食事処（和式／8席）、お食事会場（洋式／18席）、個室会食場
◆チェックイン／15時　チェックアウト／10時


◆本館玄関と回廊

◆お食事処「若草」

◆お食事会場「故郷」